

複合型施設 広がるか

デイサービス（通い）やショートステイ（泊まり）など複数の介護サービスと、訪問看護を一つの施設で組み合わせて提供する「複合型サービス」。在宅介護支援のため、介護保険法改正で昨年4月、新設された。利用者や家族からは定額で介護と看護が受けられると好評という。しかし、制度が知られていないことや看護師不足などを背景に、施設数はまだ少なく、県内でも現在は新潟市内の2カ所だけだ。どういったサービスなのだろう。

（報道部・渡辺真人）

家庭的な雰囲気漂う「デイサービス」を合わせたもピンク。高齢者数人がお茶のたしこみ。医療的なケアが必要になっても住み慣れた地域で暮らしていけるようにと、国が導入した。複合型の利点は、なじみのある介護と医療に合わせた柔軟な対応ができて、在宅のみともしやすくなった。要介護度に応じた定額制となっている。複合型サービスの職員が介護と医療に関わり、ケアマネージャーが一体的にプランニング全員で、利用者の体調

県内はまだ2カ所

看護師不足解消が課題

「複合型サービス」の仕組み



家庭的な雰囲気の中でくつろぐ「ケアステーションるびなす」の利用者ら
新潟市中央区

あんしん ネット

複合型サービス利用者が「デイサービスやショートステイ、訪問介護、看護を組み合わせる」ことができる。胃ろうや気管切開の管理、カテーテル交換など医療行為にも対応できる。登録定員は1施設25人で、要介護度1〜5の人が対象。定額制で、要介護度に応じて自己負担額は約1万3千円〜3万2千円。や生活の変化を把握できる。が上がる。

「小規模」と「訪問看護」を同時に利用する従来の方法では、訪問看護の回数が増えたと要介護度を超えられた利用限度額のため、訪問回数を減らすという。利用者もいたという。ただ、施設がなかなか増えない要因の一つが看護師の不足。施設には最低2・5人の看護師を置かなければならない。事業者の公募を予定している柏崎市の担当者には「看護師が不足し、市では「看護師不足」を解消する必要がある」と話している。

制度ができて1年余りが経過した複合型サービスだが、あまり広がっていない。厚生労働省によると、全国でサービス提供しているのはことし4月末現在で64事業所。県内では「るびなす」と新潟市北区の「複合型サービスケアプラザ」が主だ。長岡市で7月にも、複合型を始めると全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会の小山剛副理事長は「介護や看護を提供する施設を持つ法人は、人材を有効に活用して複合型を取り入れてほしい。介護する家族がいない人にも24時間の見守りができる必要サービスだ」と話している。

「あんしんネット」のコーナーでは、社会保障に関する話題を随時取り上げます。ご意見や体験をお寄せください。宛先は〒950-8535、新潟市中央区万代3の1の1、新潟日報社報道部社会保障班。ファックスは025(908)7240。メールはfanshin@nigata-ta-nippo.co.jp